

人口減少対策特別委員会

本山 正人

(2) 社会減対策

①移住・定住対策

私は、最初のレポートに掲げた通り若い人を呼び込む環境整備が一番大事なポイントと考える。

・若い家族世帯を呼び込む。

対策その1、首都圏にはない「魅力」を発見する。

2、子育て世代共働き夫婦にターゲットを絞って環境整備をアピールする。

例えば、「子育てするには上越市」・「住まい環境の充実」など他にない独自性を創出し。上手くアピールしていく重要性。

3、移住・定住には自治体と企業側のコラボが必要不可欠である。

【説明】

なぜ若い世代が地方から首都圏へと流れてしまうのか、それはは仕事があり、「魅力」が有るからだ。地方から首都圏へ若い世代が流出するのを防ぐには、地方で東京にはない「魅力」を発見する、また、新たに創出する必要がある。「若い世帯が住みたくなる地方の創出」必要なものは何なのか検討する。「子育て世代の共働き夫婦から選ばれるまちを目指すという明確な目標設定」「選択と集中」の考え方をあてはめ、誰に対し、何をするのか明確にしていく。

若い家族世帯のニーズにこたえる施策を展開する必要がある。最近では女性の社会進出が進み、共働き世帯が増えていることから、親の負担を減らし、時間の融通が利く子育て支援体制が求められている。地方は首都圏に比べ、収入が低い、地価や物価もまた安く、更に過密で息苦しい首都圏よりも子育てに向いているなどの地方ならではの利点をPRすることで、シニア世代が主流であった地方回帰の中で「子育て移住」が起こる。